

# 令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人亀井啓進会 府中白百合第二幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・年齢に応じた知的、身体的発達を十分に遂げるよう促進する。
- ・自主性を育て、明るく積極的な性格を培う。
- ・友達との関わり合いの中から、主張すること、譲ること、思いやる気持ちを育てる。
- ・読書力をつけ、本の大好きな子になるよう導く。
- ・人の話を集中して聴いたり、ある活動に没頭出来るような落ち着きと集中力を養う。

## 2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・ひとり一人に寄り添い、見とりの力を付け、幼児理解を深める。
- ・職員間で幼稚園の保育理念を共有し、保育活動及び教育内容の充実を図り、少子化の中、多くの保護者に選んで頂ける園となるよう、基本を忘れずに、日々を大切に保育する。
- ・誰もが負担なく参加出来る母の会活動のあり方を保育者と共に模索する。
- ・満3歳組を含む2歳児保育の充実と預かり保育の日数・時間の拡大など子育て支援の充実を図る。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

<評価> A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった

	評価項目	評価	取り組み状況
1	ひとり一人に寄り添い、見とりの力を付け、幼児理解を深める	A	◎様々な子どもへの対応や理解を深めるため、発達支援センターから3年間同じ専門講師の派遣を依頼し、3年という長期のスパンで子ども達の様子を見て頂き、アドバイスや助言を受け、保育の中で実践した。同じ講師から長期的にアドバイスを受けることでより理解を深めることが出来、子どもたちの発達に結び付けることが出来た。希望によっては、保護者にも直接アドバイスをして頂いたり、励まして頂いたりする時間を設けた。 ◎園全体でひとり一人の子どもの成長・発達を見守り・育てる環境作りに留意しカリキュラム会議の際、意見を出し合う等、見とる力を付け、より深い幼児理解につながっている。
2	職員間で幼稚園の保育理念を共有し、保育活動及び教育内容の充実を図り、保護者の方に、選ばれる園になる様、努力する。	A	◎職員会議や行事後の反省会等で、幼稚園の保育理念を常に共有し、日々の研鑽と職員間の学び合いを大切にすることを心掛けた。 ◎これからの時代に必要となってくる英語に幼児期から親しみ興味を持つ事更に外国人講師と触れ合い、異文化に興味や関心を持つ機会になる様、月1回の英語レッスンを保育カリキュラムに加え、保育活動の充実を図った。 ◎水曜日の午前保育（9：00～11：30）を月2回通常保育に変更、長期休み期間の短縮を検討し、保育日数、時間の見直し、保育日数や保育時間を増やす事で、日々の保育内容を充実させた。

3	誰もが負担なく参加出来る母の会活動のあり方を保護者と共に模索する。	<p><b>B</b></p> <p>◎仕事を持つ母親が増え、働きながらも負担なく役員を受ける事が出来、子どもと一緒に幼稚園生活を楽しむ事が出来る母の会設立を目指し、幼稚園と母の会で話し合いを進めている。しかしながら、様々な家庭の状況や考え方があり、実現にはまだまだ工夫や努力が必要である。</p> <p>◎役員の方には、保護者の代表としてクリスマス会などの行事に参加して頂き、子どもと一緒に行事を楽しんで頂く機会を設けた。</p> <p>◎母の会は、昨年に引き続き、母の会総会をネット上で開催したり、PDFでメールを配信するなど、ペーパーレス化を図り、役員会の回数、仕事量を軽減している。</p> <p>◎幼稚園は役員にお願いする行事の数を減らし、必要であればボランティア募集する方法を多く取り入れた。</p>
4	満3歳組を含む2歳児保育の充実と預かり保育の日数・時間の拡大等、様々な方面から、子育て支援の充実を図る。	<p><b>A</b></p> <p>◎令和5年度より、満3歳組という3歳のお誕生月の翌月から入園できる4年保育をスタートさせた。試行錯誤の中のスタートではあるが、先ずは、お家の方とはなれて、幼稚園に来ることが楽しくなる様、保育内容、おもちゃや絵本等を厳選し、一人一人に寄り添う丁寧な保育を心掛けた一年であった。</p> <p>◎入園前の2歳児の一年間、それぞれに有意義な時間となる様、月2回の未就園児親子教室「ぺんぎん」、月1回土曜日開催の未就園児親子体操教室「らっこ」を開室し、子育て相談や入園準備の質問に対応し、安心して園生活スタート出来る様サポートした。</p> <p>◎「らっこ」開催日には、入園前の幅広いお子様対象に園庭開放を行い、遊びに来て頂く事によって、幼稚園が地域に開かれ、親しみの持てる場所になる様、心掛けた。</p> <p>◎共働き家庭であっても、幼稚園の教育を受けさせたいという家庭の支援の為、保育日数・保育時間の見直しを行った。預かり保育時間は、全日、7時半～18時迄に延長し、長期休みも、土日・祝日・12月29日～1月3日の年末年始の休み以外は行っており、共働き家庭の方に喜ばれおり、利用される方も多い。</p>

#### 4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	<p>令和5年度はコロナ禍も明け、真の意味で幼稚園の真価が問われる年になるという意識を強く持ち、令和4年度に立てた計画通り、様々な新しい取組を行った。</p> <p>少子化も進んで行く時代の中で、保護者のニーズに寄り添いながらも、中心は常に”子ども”に置きながら、基本的な事を見失わずに、職員間で時間をかけて話し合いを重ね、努力した1年であった。</p> <p>保育時間の延長や長期休みの期間短縮等により、かねてから保育内に導入したかった英語レッスンも取り入れることが出来、子ども達にも保護者にも好評である。</p> <p>満3歳児組も保育園の2歳児クラスとは異なる幼稚園ならではの特色を生かした満3歳組を確立していきたい。</p> <p>選ばれる園になるべく、まだまだ努力の余地はあるが、職員みんなで知恵を出し合い、今後も努力していくという共通意識を持つことが出来た。</p>

## 5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	保育活動・教育内容の充実	<p>教育内容の質の高さを保つため、日々の研鑽と職員間の学び合いを大切に にする。</p> <p>本園の保育理念・教育目標に常に念頭に置き、職員間で共通理解しながら、 各自の保育にあたる。</p> <p>子ども達が楽しく取り組む事で幼児期に必要な子ども達の心や身体の 発達に繋がるような活動を保育の中に多く取り入れる。</p>
2	満3歳組を含む2歳児保育の充実	<p>満3歳組を幼稚園の4年保育としての位置付けがしっかり出来るよう、 保育内容や行事への参加の仕方等検討を重ね、より良い満3歳組を確立 していく。</p> <p>未就園児親子教室「ぺんぎん」、未就園児親子体操教室「らっこ」も保育 内容を高め、各家庭の状況に合った3歳児入園に向けた一年が過ごせる ように支援する。</p> <p>無料の英語遊びの教室、園庭開放の開催やイベント等、地域の方やお子 様のいるご家庭に幅広くお知らせし、楽しく親子で参加して頂く事で幼 稚園に対し、より理解を深めて頂く。</p>
3	預かり保育の内容を充実	<p>共働き世帯を含む様々な家庭のニーズに応えられるよう、預かり保育の 内容や仕組みを充実させる。</p> <p>夏休み預かり時の暑さ対策、預かり中の病気や怪我の対応など、様々な ケースについて確認し、子ども達を安全に預かることが出来るような設 備や体制作りを更に強化して行う。</p>
4	英語教育の充実	<p>2年目になる保育内の英語レッスンを英語講師と相談し、子ども達の取 り組み方の様子を見ながら、内容を充実させていく。</p> <p>保育内で体験した英語を普段の保育の中にも生かす遊びや活動を模索 し、月1回の英語レッスンを生かせる工夫をする。</p>
5	幼稚園業務のIT化を進める	<p>幼稚園業務の効率化を図るため、出来るところからIT化を進めていく。</p> <p>子ども達の幼稚園での様子や活動の様子を保護者にタイムリーに紹介 したり、これから幼稚園を選ばれるご家庭の保護者の方に、幅広く情報 を開示する為に、インスタグラムを開設する予定である。</p> <p>母の会からの要望でもあるホームページの活用も進めていきたい。</p>

## 6. 学校関係者評価

### (1) 幼児理解を深める

- ・様々な性格や特徴を持つ子ども達に、ひとり一人と丁寧に向き合うことが幼児理解を深めることにつながっていると感じた。
- ・3年間の長いスパンの中で、同じ専門家講師からの学びのアドバイス・助言を頂けるのは、とてもわかりやすく、子どもを理解して頂く上でも良いと思う。
- ・家庭にフィードバックしたり、直接保護者の方と面談して頂き、子育てのアドバイスをもらったり、親子で頑張っていることを励まして頂くことで、保護者も安心し、安定して子どもと向き合うことが出来、子供の発達・成長につながっていると思う。

### (2) 保育活動及び教育内容の充実を図り、保護者の方に選ばれる幼稚園になるよう努力する。

- ・小学校でも必修となっている英語が保育に取り入れられたことは大変良い事だと思う。将来的には、月1回の活動から回数を増やしたり、日常的に触れ合う時間を少しでも作れると更に有効な成果が得られると思う。
- ・保育日数、保育時間の見直しにより保育日数や保育時間が増えたことは、保育内容が充実されると共に、仕事を持つ母親にとっても、家庭と仕事の両立がしやすい環境となり大変良かった。
- ・共働き家庭は平日にお稽古をさせることが難しいことが多く、保育時間後に様々な課外活動が設けられていることは大変ありがたく、利用者も大変多いと感じる。
- ・昨今の近隣幼稚園のデジタル化移行に追従すべく、現金集金等のアナログ業務を減らしていくことで、園・保護者両者の負担が軽減されるとともに共働き世帯にも更に支持されていくと思う。また預かり保育の利用時間を30分・1時間の小単位で利用できるようになると更なるニーズに応えることが出来、利用者も更に増えると思う。

### (3) 母の会活動のあり方を保護者と共に模索する。

- ・令和4年度の効率化を図った母の会の運営方法を継続しながら、更に母の会役員の中で話し合いを進め、幼稚園と相談したり、了解を得たりしながら、より良い方法へと進めることが出来た。
- ・令和4年度からの2年間で、誰もが負担なく参加できる活動へ大幅シフトできたと思う。しかしながら、役員は大変というイメージが先行し、参加に消極的な保護者が多いことが課題である。

(4) 満3歳組の開設と預かり保育の日数・時間の拡大等様々な方面から、子育て支援の充実を図る。

- ・無償化の対象となる満3歳組（4年保育）の開設は、保護者にとって2歳児の時期の過ごし方の選択肢が広がった。
- ・満3歳児保育を受けてきた子は年少クラスへスムーズに移行でき、またそのような子が一定数いることで年少クラスの保育活動の充実にもつながっていた。
- ・預かり保育の日数や時間の拡大により、共働き家庭であっても、保育園だけでなく幼稚園に通うという選択肢が増えた事は大変良かった。
- ・預り時間の延長、預り実施日増加に伴い、保育内容も工夫され、預かりを利用する回数の多い子どもも楽しむ事が出来た。特に季節の制作活動はクオリティも高く好評であった。

(5) その他

- ・幼稚園の保育に英語が導入されたことに伴い、無料の未就園児対象の英語遊びが月1回開催されている。地域の方や幼稚園に興味のある方に紹介し、多数の親子に参加して頂き、幼稚園を知る機会になれば良いと思う。
- ・今後の課題として、お手紙や日々の活動の様子配信にホームページ等を活用したり、園との連絡手段に連絡アプリを導入したりデジタル化を進めていただきたい。